

<北海道のワインと食のペアリングの第一人者>**阿部 眞久 (あべ まさひさ) プロフィール**

1974年 宮城県仙台市生まれ、小樽市在住 (45歳)
NPO法人ワインクラスター北海道 代表理事

【最終学歴・学位】

小樽商科大学 大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻修了
MBA (Master of Business Administration / 経営管理修士)

【主な資格・任命】

シニアソムリエ、ソムリエ (日本ソムリエ協会)
国内旅行業務取扱管理者 (国家資格・観光庁)
北海道らしい食づくり名人 (北海道知事認定)
北海道観光アクティビスト (国土交通省北海道運輸局)
Shiribeshi 酒 アンバサダー (後志観光連盟)
小樽ふれあい観光大使 (小樽市)



血液型：B型 利き手：左手
趣味：大相撲観戦 好きな動物：猫

主な経歴**【幼少時～ソムリエ資格の取得まで】**

- ・子どもの頃から両親の実家のある北海道に憧れを持ち、小学5年生のときには鉄道と青函連絡船を乗り継いで仙台から札幌までの一人旅をしたことが北海道の旅や食に興味を持つきっかけとなる。
- ・宮城蔵王ならびに仙台市内でホテルマンとしてソムリエ資格の取得を目指す。1997年に日本ソムリエ協会の認定するソムリエ資格を受験年齢最年少 (23歳) で取得、日本ソムリエ協会東北支部役員に就任。

【ワイン産地 北海道への熱い想いと創造への挑戦】

- ・北海道のワインと食、観光の魅力とワイン産地としての可能性に惹かれ、北海道ワイン株式会社の故・畠村会長に手紙を書き、2000年3月16日に北海道に移住。北海道のワイナリーで初のソムリエとして勤務。広報、鶴沼シリーズの商品開発、ワイン列車などの総合企画業務を担当。
- ・2005年に受験年齢最年少 (31歳) でシニアソムリエに認定。同年10月に北海道フードマイスターを取得し、北海道産ワインと食の双方に精通しているとして北海道知事より「北海道らしい食づくり名人」に認定。
- ・2009年に官民連携により設立された「北海道ワインツーリズム」推進協議会において事務局長を務め、自社だけではなく道内ワイナリー全体の知名度と評価を高めるとともに、観光と食と融合した北海道らしいワイン文化の創造への挑戦をスタート。

【夢を力に ワインクラスター北海道】

- ・ワインと食という専門性に高度な経営知識を付加し、新規の事業開発を担う能力を身につけることを目的に、組織推薦 (企業派遣) 学生として小樽商科大学 大学院アントレプレナーシップ専攻でMBA学位を取得。
- ・「シニアソムリエ×MBA×北海道フードマイスター」という世界唯一の存在として、北海道のワイン文化創出ならびに地域振興に貢献したいという想いを実践するために、13年間勤務した北海道ワイン株式会社と道産ワイン懇談会 (業界団体) の理解ならびに支援のもと、2013年に「NPO法人ワインクラスター北海道」を設立し独立。設立直後より「北海道の食と観光」に関する各種行政機関等の委託事業を手掛ける。
- ・2015年より北海道中央バス小樽運河ターミナル内に「北海道・ワインセンター」を開設。国内外から訪れる人々に北海道のワインのPRを行うほか、旅行業免許を取得して「ワインツーリズム」の運行を行っている。
- ・ホテルやレストランの調理ならびに飲食サービス部門のスタッフを対象とした研修。ペアリングメニューの開発やワインのセレクトとそのセールスコメント作成等を「顧問ソムリエ」としてお引き受けいたします。

これまでの主な受託事業、講演の実績

行政機関事業：北海道、北海道開発局、札幌国税局、後志総合振興局、空知総合振興局、余市町、仁木町、農林水産省、北海道農政事務所、北海道運輸局の委託事業を受託

講演実績：洋酒技術研究会、全日本司厨士協会小樽支部、北海道消費者協会、日本技術士会北海道本部、日本ブドウ・ワイン学会、国立科学博物館、小樽商科大学、室蘭工業大学、酪農学園大学、道新文化センター、商工会議所、各種民間企業、食育授業など、年間50回程度の実績です。

ワインと食のペアリングに関する執筆

- ・北海道新聞コラム「えぞふじ」(2017年1月より連載「ワインと食のペアリング」をテーマに執筆中)
- ・『ワインクラスターの食卓』(2014年7月出版・ワインと食のペアリングをテーマとした世界初の書籍)
- ・後志総合振興局「酒と肴」Food&Drink カード(2014年3月 後志管内6つの酒蔵の14アイテムに対し作成)

組織概要

<名称>

NPO 法人ワインクラスター北海道（英文組織名：Winecluster Hokkaido）

<私たちが目指すもの>

北海道の食と観光の魅力を活かし、北海道産ワインの認知度と付加価値の拡大を図る。道産ワイン業界出身の中立独立の非営利組織として各種機関等と連携し、世界に向けたマーケティング&プロモーションを担う。

<事業内容>

道産ワイン懇談会事務局、GI（地理的表示）北海道使用管理委員会事務局、行政機関等委託事業の受託運営
ホテル・レストランの顧問ソムリエ、果実酒ならびに蒸留酒の製造技術などコンサルティング事業
ワインツーリズムの運行などの旅行業（北海道知事登録旅行者代理業 129号）
北海道産ワインに関する講演、道新文化センター「みんなで楽しむワイン教室」講師、コラム連載の執筆
「北海道・ワインセンター」の運営、酒類通信販売業

<役員構成>

代表理事 阿部眞久（MBA、シニアソムリエ、国内旅行業務取扱管理者、国内旅程管理主任者）
副代表 沼田枝己（MBA、簿記1級、十勝ワインバイザー）
理事 津川裕一 学校法人酪農学園 入試広報センター広報課長、MBA
監事 李濟民 小樽商科大学 大学院アントレプレナーシップ専攻 教授

<組織の沿革>

2013年1月30日 特定非営利活動法人認証（2月7日 登記完了） 3月31日まで設立未開業

2013年度

4月1日より事業開始（最初の事業として道新文化センター「みんなで楽しむワイン教室」を開講）
北海道後志総合振興局、北海道経済部、小樽商工会議所委託事業を受託

2014年度

北海道後志総合振興局、北海道経済部、小樽商工会議所委託事業を受託

2015年度

道産ワイン業界で30年のキャリアを持つ技術者を採用し北海道・ワインセンターを開設、物販事業開始
株式会社シービーツアーズと提携し、旅行者代理業免許を取得。旅行業務取扱管理者（国家資格）の有資格者の退職のため営業できず、阿部代表自身が資格試験に一発合格して旅行事業の営業を開始する
北海道経済部、小樽商工会議所、余市町・仁木町委託事業を受託

2016年度

酒類通信販売事業を開始

オーストラリアおよび山梨県のワインツーリズム視察研修を実施し、北海道のワインツーリズムに反映
北海道経済部、余市町・仁木町委託事業を受託

2017年度

沼田副代表が常勤職員となり、パート職員を入れて4名の職員体制となる
アメリカ・オレゴン州のワインツーリズム視察研修を実施し、北海道のワインツーリズムに反映
道内酒類製造事業者と技術コンサルティング契約を締結し、コンサルティング事業を開始
北海道経済部委託事業にて東京ならびにシンガポールでの北海道産ワインプロモーションを実施
北海道経済部委託事業にてウインザーホテル洞爺とヒルトンニセコビレッジにてペアリング開発
後志観光連盟委託事業にてアンバサダーとして20市町村を訪問し、酒と肴のペアリングの検討
余市町・仁木町委託事業にて「余市仁木ワイン&フードフェア」を実施

2018年度

道産ワイン懇談会（業界団体）の事務局を受託運営

GI（地理的表示）北海道使用管理委員会の事務局を引き受ける

北海道経済部委託事業による「北海道ワインアカデミー」事業をコンソーシアムにて受託運営
北海道経済部委託事業にて東京、大阪、タイ、シンガポールでの北海道産ワインプロモーションを実施
後志観光連盟委託事業にて旅行会社とメディアを招聘し、酒と肴を楽しむ旅のモニターツアーを実施
仁木町委託事業にて「ワインツーリズム循環バス」実証実験を実施
道新文化センター小樽「みんなで楽しむワイン教室」が常時満員・順番待ちの人気講座となる

<ご連絡先>

〒047-0031 小樽市色内1丁目1番12号 小樽運河ターミナル
Tel 0134-64-5581 / Fax 0134-64-5582 info@winecluster.org